



木もれびの森の山菜

こもれびの森で採れる山菜を博物誌に掲載されて1年です。本年度で山菜の遍は終了です。食用になる山菜は森にはまだまだたくさんあると思います。まさかこんな物まで食べることが出来るの?・・・と思うような物まであります。山菜には有毒なものも有り注意しましょう。山菜採りは乱獲しない。翌年のために必要のない根は掘り起こさない。葉、茎だけを摘む。自然の恵みを少し分けていただくという気持ちで採取。山菜の中には新芽を摘み取られると次の新芽を出さず翌年まで休眠をしてしまうものもあります。

よく中毒を起こす植物(毒草)は「**バイケイソウ**」→オオバギボウシ(食べられる)に似ている。見分けが付かないときには採取しないことです。(田崎)



ウバユリ/ユリ科



ウバユリ(花)



シュンラン/ラン科



ニリンソウ/キンボウゲ科

ウバユリ	葉は茹でておひたしに・和え物に。ネット情報だとかなり苦いようです。薬用。鱗茎は塩茹でてから和え物・煮物・天ぷらなどに使用するそうです。
シュンラン	花は塩漬けにしてお茶に使う。茹でてから酢の物にする。アクやクセがなく火を通しても形がくずれず歯切れが良く甘みがある。根こそぎとらないで花だけを摘む。
ニリンソウ	花も若芽もさっと茹でておしたし、酢みそやゴマ和え物、汁の具に使う。若葉は有毒植物の「 トリカブト 」に良く似ているので間違っって摘まないように。
ヤブレガサ	天ぷらやおひたしが良いそうです。食べごろは傘が開いてしまわないうちに。開かない傘には毛が生えています。希少性が高まっている植物だそうです。
ノブキ	春柔らかい新芽を摘み取る。茹でて冷水にさらし和え物、酢の物、卵とじなどに利用する。



ヤブレガサ/キク科



ヤブレガサ(花)



ノブキ/キク科



ノブキ(花)

木もれびの森の野鳥たち 2月

<越冬と恋の季節>

一年で最もいろいろな野鳥に出会える季節ですが、この冬はちょっと様子が違います。例年に比べ、越冬のためにやってくる冬鳥たちの数や種類が、とても少ないのです。**シメ・アオジ・ルリビタキ・シロハラ**に出会う機会はめったになく、冬鳥の代表選手ツグミでさえ多くありません。また、木もれびの森は昨年台風で森の樹冠を覆っていた大木が何本も倒れ、森の中はいまも荒れた様子を見せています。野鳥たちの暮らしにどのように影響したのか気になるところです。

さて、木もれびの森で暮らすコゲラ・メジロ・シジュウカラ・エナガたちは、いつものように元気な姿を見せてくれています。2月は、食べ物が一番乏しくなる時期、冬を乗り越えられるかの瀬戸際が続きます。そんな中、野鳥たちは早めの恋の季節に入っていきます。ペアができたエナガは、群れから出て、2羽で行動します。小さなくちばしに巣材をくわえ、飛んでいる姿に出会えるかもしれません。

暖かな日には、シジュウカラは「ツツピー、ツツピー」と、ヤマガラはゆっくりテンポで「ツーツーピー、ツーツーピー」とさえざり、春近しを感じさせてくれます。鳴き方の違いから鳥の名前がわかる楽しみができ、是非耳をすませて聞き比べてみてください。

木の芽が動き出すのも間近か。冬眠中の虫たちもそれに合わせ活動開始をすることでしょう。(瀬尾)



ヤマガラ

こもれびの森の樹木(18)

冬のこもれびの森の落葉樹はすっかり葉を落とし、枯葉色に覆われ、侘びしい気分になりますが、落ち葉が一面に敷かれた散歩道を歩くといい気持ちになります。



森の中に立つと道路を走る車が見え隠れし、なんだか森が小さくなったような感覚になり、今まで見えなかった景色が見えてきます。落葉樹は晩秋に葉を落とし寒々とした姿になって休眠し冬を過ごします。そしてふたたび春を迎え活動を始めます。その活動を開始する準備が枝先にできる冬芽です。春一斉に葉が付き、花が咲く準備として冬芽は厳しい冬に耐え、春を待っています。

こもれびの森の特徴ある樹木の5番目はユリノキです。こもれびの森の大野台地区の東北に位置する相模緑道緑地沿い近くに10数本のユリノキが植生しています。最も大きい木は幹周り 141cm 樹高 16m(目測)で大小あわせ 15 本あり、すでに伐木された木もあるので、当初は 15 本以上あったと思われます。



ユリノキの花 (5月15日撮影)



ユリノキの実

ユリノキはモクレン科ユリノキ属で別名をハンテンボク、チューリップツリーともいいます。別名の由来は学名が「チューリップのようなユリノキ」という意味でチューリップのような形の花が咲き、また、葉の形が半纏に似ていることからハンテンボクとも呼ばれます。

原産地は北アメリカで明治時代に渡来した落葉高木で、樹高は 20～60m にもなります。花期は5～6月で枝先に5～6cmのチューリップ状の花が咲きます。葉は4～6に浅く裂け、長さ、幅とも10～15cmで葉柄も長く3～10cmにもなります。当地に何故にこのようにまとめてユリノキが植えられているのか謎ですね(林)

*： 当会ホームページの会員広場に、こもれびの森の特徴ある木の場所を示す地図「こもれびの森の珍しい木」(平成23年改訂版)を掲載しました。ご参照下さい。